



〈5〉

佐賀県を拠点に活動する 久野さんは県の支援も受  
高齢者のパソコンクラブ けながら、佐賀市、武雄市、  
「シニアネット基山」とシ 有田市など県内6市町で、  
ニア情報生活アドバイザー 高齢者のパソコン学習を指

# 高齢者向けの講師を養成

## 暮らしを助けるパソコン

(SIA)佐賀」の代表久 導するシニア情報生活アド  
野美津代さん。同県はイン バイザーの育成に取り組ん  
ターネット交流サイト(S ている。同アドバイザーは  
NS)の導入などに先進的 ニューメディア開発協会  
なことで知られているが、 (東京都中央区)が認定、  
高齢者の情報化にも力を入 推進する高齢者のIT指導  
れている。 者の養成制度だ。

活動のきっかけは、30年 以上前、パソコントラブル  
をボランティアに助けても らった体験だ。会社員時代  
の久野さんはパソコンの便 利さに感動。おもちゃ店を  
開業する機会にパソコンを 導入したが、使い方がさつ  
ぱり分からない。知り合い の紹介で詳しい人が親身に

なって助けてくれた。

パソコン初心者への応援を しよう、高齢者が身近な場  
所でパソコンを学べるよう にしようと1999年、地  
元で「シニアネット基山」 を立ち上げ、そのノウハウ  
を県全体に普及させようと 頑張っている。  
パソコンやネットワーク

さえ使えれば、体調の悪い くと、「食べられそうなも  
とき、「風邪を引いたので のを持ってきたわ。おかげ  
きょうのボランティアはお でも作るうか？」と仲間が  
休みします」とメールを書 立ち寄ってくれる。ボラン

ティア活動で得られるもの は、お金では手に入れるこ  
とが難しい温かい人間関係 である。

ネット利用がシニアの間 に普及する鍵を握るのは、  
良い講師の確保であること は間違いない。タブレット  
型多機能携帯端末が発売さ れた直後には、東京から講  
師を招いて最新の講座を開 催。久野さんは愛車できよ  
うも県内を走り回ってい る。(老テック研究会事務局  
長・近藤則子)



SIA佐賀が主催した高齢者向けのiPad講座。正面のホワイトボードの前に立つのが久野美津代さん。佐賀県有田市

シニアネット基山のホームページ

